

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
32304	コミュニケーション能力開発 Developing Communication Skills	遠藤 都	✓	専門	2	選択	1・2年後期

科目の概要

世の中は人間関係と評価で構成されている。この科目では、相手や周囲との良好な人間関係を築くために必要な知識やコミュニケーションスキルを身に付ける。様々なコミュニケーションを学び、それぞれのタイプ別にアプローチをはかり、良好な人間関係を育む。面接対応はコミュニケーションで成り立っている。話し方や聞き方を学ぶことにより、印象アップに繋がることを知る。
★NHK文化センター「魅せるイメージアップ会話術」講師、企業顧問、司会者目線で個性を表すプレゼンを習得する。

学修内容	到達目標
①面接を意識したコミュニケーションのとりかた ②コミュニケーションロールプレイ（相手が意図していることを汲み取り、個性で表現） ③コミュニケーションの種類（素質論、NLP、カラー診断）を学び、人の考え方、行動特性を理解する。	①傾聴力、司会者技術（話し方のスキルとテクニック、場を読む力）を身につけることができる。 ②面接時において力を発揮できるように感情のコントロールを身につけることができる。 ③人のタイプを知ることにより、処世術を身につけることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	自ら進んで挨拶や声がけをし、リーダーシップのあり方を考えている。
	働きかけ力	授業の中で質問ができています。自分の意見を言えている。
	実行力	様々なコミュニケーションを学ぶことにより、よりその人が見えてくるので、その人の習性にあわせたコミュニケーション（伝え方や聴き方）をしている。
考え抜く力	課題発見力	プレゼン時のアドバイスを客観視することができ、修正する力を身に付ける。
	計画力	
	創造力	講義の中で固定観念に捉わられることなく、自由な発想で考える力を身につけ、言葉で発したり、記述ができる。
チームで働く力	発信力	相手に聞きたいと思わせる発表(声量、スピード、視線、内容構成等)を考えて発表できる。
	傾聴力	話しの意図を掴む力を養成する。
	柔軟性	人の意見を素直に聞き入れ、柔軟に対応できる。
	状況把握力	プレゼンテーション時に話しやすい環境を作っている。
	規律性	受講ルールを守り、授業を受けることができる。
	ストレスコントロール力	講義の中で学んだ「感情のコントロール」ができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：美語研修®

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：ビジネス実務総論、キャリアデザイン
資格との関連：ビジネス実務士

学修上の助言	受講生とのルール
少人数制で行うため、レベルアップを個人が心がけてください。面接を意識した内容です。自分以外の人の良いところを学ぶこと、自分の良さを活かすことを常に意識して成長しましょう。また、常に自分は「どうありがたいか」「目の前の人との関係性をどう築きたいか」など、礼節のある態度を必要とします。	授業で配布するプリントの予備は保管しません。自分の考えを言葉遣いを考えて話すことを心がけてください。プレゼンテーションの機会が多いので、特に話し方技術に対して努力をし、日々の自分磨きに励みましょう。礼節ある態度を要しますので、服装にも気をつけてください。美語研修®のテキストを持参してください。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ガイダンス 伝わる話し方：話し方レッスン 美語研修®より「感情のコントロール」自己紹介を各自行う	講義・プレゼンテーション 講義の趣旨の説明 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 不明点はフィードバックを行います。	話し方の技術を理解する。 感情のコントロールの意味を理解する。 自己紹介の仕方がわかる。	(復習)講義のトレーニングを毎日行う。 感情のコントロールができるよう努力する。 (予習)コミュニケーションの種類を考えておく。	180	主体性 働きかけ力 実行力 傾聴力 発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2週 /	確実に伝わる声の出し方・届け方 プレゼンテーション	講義・演習・プレゼン 授業終了時に授業内容についてまとめを行います。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 不明点はフィードバックを行います。	確実に伝わる話し方を理解する。 声の出し方・届け方の違いを理解する。	(復習)日常での話し方の実践。 (予習)自分の話し方の癖について家族や友人に聞く。	180	主体性 働きかけ力 実行力 傾聴力 発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3週 /	印象管理 ・ディスカッション	講義・演習・グループワーク *開始直後に小テスト 授業終了時に授業内容についてまとめを行います。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 不明点はフィードバックを行います。	自分の抱えている印象と他人の抱えている印象のギャップの理解の差を縮める努力をしている。 ディスカッションでは、伝わる話し方をする理解をしている。	(復習)講義の中での印象管理を考慮して生活を送る。 (予習)印象管理について調べておく。	180	主体性 働きかけ力 実行力 傾聴力 発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4週 /	心理カラー診断 コミュニケーションの取り方	講義・演習・グループワーク *開始直後に小テスト 授業終了時に授業内容についてまとめを行います。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 不明点はフィードバックを行います。	パーソナルカラーとの違いを認識し、タイプを分析。 コミュニケーションのあり方を理解する。	(復習)日常生活の中で学んだ事を意識して会話する。 (予習)パーソナルカラーについて調べる。		主体性 働きかけ力 実行力 傾聴力 発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5週 /	語彙力アップの話し方 ・ディスカッション プレゼンテーション	講義・演習・グループワーク・プレゼン 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 不明点はフィードバックを行います。	語彙力の重要性を理解する。	(復習)学んだ語彙力で自分から積極的に話しかける。 (予習)間違いを指摘されたことがある言葉遣い書き出しておく。		主体性 働きかけ力 実行力 傾聴力 発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6週 /	・シーン別プレゼンテーション ・面接対応「質問の意図」を考える プレゼンテーション	講義・演習・プレゼン 授業終了時に授業内容についてまとめを行います。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 不明点はフィードバックを行います。	目的別のプレゼンテーションの在り方を理解する。 面接対応で質問の意図を考えながらディスカッションをする。	(復習)日常生活の中で正しい日本語を意識して会話する。 (予習)プレゼンテーションについて予備知識をつけておく。		主体性 働きかけ力 実行力 傾聴力 発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7週 /	礼節を感じるコミュニケーションの在り方 敬語表現 プレゼンテーション	講義・演習・プレゼン 授業終了時に授業内容についてまとめを行います。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 不明点はフィードバックを行います。	尊敬語・謙譲語・丁寧語を理解して使うことができる。	(復習)講義で学んだ敬語を自分のものとなる反復実践。 (予習)敬語についてどの程度の予備知識をつけておく。		主体性 働きかけ力 実行力 傾聴力 発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8週 /	素質論	講義・演習・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行います。 講義の趣旨の説明 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 不明点はフィードバックを行います。	人のタイプを考え、タイプ別に話し方を変える工夫をすることの理解ができる。	(復習)タイプ別の話し方を心がけること。 そのためにはその人を察すること。 (素質論)についての予備知識をつけておく		主体性 働きかけ力 実行力 傾聴力 発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	話し方の工夫 伝わる話し方	講義・演習 *開始直後に小テスト 授業終了時に授業内容についてまとめを行います。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 不明点はフィードバックを行います。	効果的な表現方法を理解し実践しようと努力する。	(復習)自宅で鏡に向かい、学んだ表現方法を実践しながら話をする。 (予習)前回までの話し方について総復習をしてくる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 傾聴力 発信力 創造力 傾聴力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10週 /	聴くことの重要性を学ぶ 傾聴 プレゼンテーション	講義・演習・グループワーク プレゼンテーション 授業終了時に授業内容についてまとめを行います。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 不明点はフィードバックを行います。	「聴く」ことの重要性を説明することができる。	(復習)傾聴を意識して日々を送り、以前との変化を感じてみる。 (予習)家族や友人の話を真剣に聴いた時の、相手の様子を観察してくる。		主体性 働きかけ力 実行力 傾聴力 発信力 創造力 傾聴力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11週 /	聴く力を養う 面接で聴かれたことの趣旨を考える	講義・演習・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行います。 *開始直後に小テスト 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 不明点はフィードバックを行います。	真剣に相手の話を「聴く」ことができる。 感情的にならないことが大切だと理解する。	(復習)日常生活で話し手の意図を理解するように心がける。 (予習)家族や友人の話を、じっくり聞いた後に、話し手の感想を聞いてくる。		主体性 働きかけ力 実行力 傾聴力 発信力 創造力 傾聴力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12週 /	長所を見つける 魅力を引き出すコミュニケーション プレゼンテーション	講義・演習・グループワーク・プレゼン 授業終了時に授業内容についてまとめを行います。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 不明点はフィードバックを行います。	個性を生かしたプレゼンを理解できる。 その人の魅力を会話から引き出すことなどのコミュニケーションがわかる	(復習)長所を意識したプレゼンをしてみる。 (予習)自分の今までできてきたこと(履歴)や長所、趣味、継続してきたこと、頑張ったことなどを書いてくる。また		主体性 働きかけ力 実行力 傾聴力 発信力 創造力 傾聴力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13週 /	⑪人間関係と評価 美・コミュニケーション 好感の持てるメイク実践 プレゼンテーション	講義・演習 授業終了時に授業内容についてまとめを行います。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 不明点はフィードバックを行います。	人間関係と様々な能力の評価で社会が形成されていることの理解ができる。 誰にも好感を抱いてもらえる和み系のメイクが手持ちのメイクセットでできる。	(復習)授業でなかったことを復習する。 (予習)美語研修⑧のテキストを読んでくる。		主体性 働きかけ力 実行力 傾聴力 発信力 創造力 傾聴力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14週 /	NLP コミュニケーションを 視覚・聴覚・体感で捉える プレゼンテーション	講義・演習 授業終了時に授業内容についてまとめを行います。 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン 不明点はフィードバックを行います。 授業終了時に授業内容についてまとめを行います。	視覚・聴覚・体感でコミュニケーションを捉えることができ、相手に理解できやすいようにアプローチする方法がわかる。	(復習)授業ならったことを生活で実践する。 (予習)視覚・聴覚・体感の意味を調べ、コミュニケーションとの関連性を考えてくる。		主体性 働きかけ力 実行力 傾聴力 発信力 創造力 傾聴力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15週 /	総括 ・今まで学んで考えてきた内容を振り返る。 「コミュニケーションについて」 プレゼンテーション	講義・演習・個人ワーク 発声・立ち居振る舞い・お辞儀レッスン。 プレゼンテーション最終チェック。 全授業について総括し理解できなかった事についてフィードバックを行う。	今まで学んで考えてきた内容をふまえ面接時に力を発揮できる。 、社会人として働く自分を想像し理想像を考えられる。 コミュニケーションを生活の中で活用できる	(復習)度々のプレゼンテーションにより、コミュニケーションの在り方、特に面接に必要な発信する力をつけた。授業での取り組みを意識しながら客観視する余裕を持ち合わせ、コミュニケーションを深めていく。		主体性 働きかけ力 実行力 傾聴力 発信力 創造力 傾聴力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		20	①		✓	
					②		✓	
					③		✓	
					④			
					⑤			
		レポート					①	
							②	
							③	
							④	
							⑤	
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)			70	①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
総合評価 割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)</p> <p>①自分の魅力を駆使している。考えをまとめ、話し方のスキルを身につけ、しっかりしたプレゼンテーションができる。相手への働きかけ、言葉遣いがきちんとでき、気遣いを感じる話し手である。</p> <p>②傾聴し、理解する能力を身につけ、聴いた話を相手の気持ちや考えながら伝えることができる。相手に答えやすい質問をして、相手が話すように働きかけている。相手をスッキリさせることができる。</p> <p>A(優)</p> <p>①自分の魅力を把握している。考えをまとめる力をつけ、話し方のスキルを身につけ、人前で恥ずかしがらず最後まで自信を持って話すことができる。言葉遣いがきちんとできている。</p> <p>②傾聴し、理解する能力を身につけ、聴いた話を相手の立場になって伝えることができる。話し手が「話してよかった」と思う満足感を傳えられる。</p>	<p>B(良)</p> <p>①自分の考えをまとめることができ、話し方のスキルを二つ以上活用し、人前で最後まで話すことができる。言葉遣いができている。</p> <p>②相手の話を聞き、理解する能力を身につけ、聴いた話を人にわかりやすく伝えることができる。</p> <p>C(可)</p> <p>①自分の考えを助けを得ながらもまとめることができ、話し方のスキルを一つも活用し、人前で話すことができる。言葉遣いに気をつけようと努力している。</p> <p>②相手の話を聞き、理解する能力を身につけ、聴いた話を人に伝えることができる。</p>